

【2021年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
臨床心理学		選択	2	2,3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾	B305	atakiguchi	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;対人援助に必要とされる臨床心理学的な基本的理論、態度、技法について学ぶことを目的とする。本講義は公認心理師資格に必要な科目として対応しているが、将来の職業選択に関係なく心の健康への知識及び対処法や心の悩みや問題を抱えた人への対人援助の基礎を理解し、科学的な援助方法について学ぶことを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;臨床心理学の基本的理論について講義し、ワークを中心に体験的に学びを深める。</p>				
学習上の助言	臨床心理学の知識を確実に修得するため、積極的な授業への参加や授業内での疑問への解消が望ましい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	公認心理師の基礎と実践 第3巻 臨床心理学概論/監修:野島一彦 他/編:野島一彦 他/遠見書房 よくわかる臨床心理学 改訂新版/編:下山晴彦/ミネルヴァ書房/2011年				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	人を尊重する倫理性と心の悩みや問題を抱えた人への深い理解を身につけている。			HSU(1)、(2)、WP(1)、(3)	
②	臨床心理学の歴史及び体系について理解し、説明できる。			HSU(2)、WP(5)	
③	臨床心理学の代表的な基礎理論について理解し、説明できる。			WP(5)	
④	臨床心理学的な援助技法について理解し、説明できる。			WP(5)、(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーションを行う。 臨床心理学の歴史、概要について学ぶ。	講義	授業内容の復習を行う。		1
2	臨床心理学の定義・基本的な理念・体系について学ぶ。	講義	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		3
3	臨床心理学の異常と正常の考え方について学ぶ。	講義	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		3
4	臨床心理学の基礎理論 精神分析的アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
5	臨床心理学の基礎理論 分析心理学的アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
6	臨床心理学の基礎理論 行動論・認知論的アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
7	臨床心理学の基礎理論 ヒューマニスティック・アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
8	臨床心理学の基礎理論 システミック・アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
9	臨床心理学の基礎理論 グループ・アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
10	臨床心理学の基礎理論 コミュニティ・アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
11	臨床心理学の基礎理論 ナラティブ・アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
12	臨床心理学の基礎理論 非言語的アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
13	臨床心理学の基礎理論 統合的アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
14	臨床心理学の基礎理論 日本生まれのセラピーについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
15	総括を行う。	講義	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		9
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		70	0	0	0	30	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	20	0	0	0	5	25	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	20	0	0	0	10	30	
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10	
評価のポイント			評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
評価方法	行動目標							
試験	①	✓	定期試験を実施して評価する。試験は、授業で学んだ知識の理解及び授業内容に関する自分の意見を述べた上で、考察を行う問題を出題し、評価する。					後日試験の総評及び必要に応じて個別に解説を行う。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	毎回授業の終わりにリアクションレポートの提出を求める。理解したこと、疑問に感じたこと及び自分の考えなどについて記述してもらおう。授業内でのワークの取り組みについて評価する。					次回の講義の初めに、前回のリアクションレポートについてのコメントし解説する。ワークについては、実施後コメントを行う。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
<p>大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めません。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。</p> <p><b>教員の実務経験：</b> 臨床心理士として 20 年の心理相談業務の経験を有する。  <b>実践的授業の内容：</b> 臨床心理士としてのこれまでの専門性と経験を講義に生かしながら学習を進める。</p>								